

科目名	インテリアデザイン論	前期	2 単位
サブタイトル	内部空間デザインの基礎知識	講義	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: インテリアの歴史を理解し説明できる。  目標2: 実際のインテリアを体験し特徴を説明できる。  目標3: インテリアデザインに必要な基礎知識を理解し説明できる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、インテリアデザインの仕事や、インテリアの歴史、構成要素、色彩、照明などの基礎知識について講義し、演習課題を通してインテリアデザインを体験する科目を指導します。またインテリアコーディネーターなどの試験受験情報についても適宜解説します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教科書で次回の授業範囲の内容を確認すると共に、普段からインテリアデザインの雑誌などで実例を見るようにしてください。また、実際のインテリアの実例を見に行き、授業で学んだ内容について理解を深めてください。各回、予習復習合わせて4時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. インテリアデザインの仕事</li> <li>2. インテリアの歴史 日本</li> <li>3. インテリアの歴史 西洋</li> <li>4. インテリアの歴史 近代</li> <li>5. インテリアを構成する要素</li> <li>6. イメージスタイル、色彩・照明計画</li> <li>7. 寸法とモジュール</li> <li>8・9. インテリアの見学1(日本と西洋のインテリア比較)※土曜補講日に実施予定</li> <li>10. 構造と仕上げ材料</li> <li>11. インテリアの見学2(大学キャンパスのインテリア)</li> <li>12. インテリアアクセサリなど</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	インテリアデザイン論	前期	2 単位
サブタイトル	内部空間デザインの基礎知識	講義	
担当者	田中 栄治		
<p>[ 成績評価方法 ]  レポート(インテリアの歴史):目標1に対応(15%)  演習課題1(住生活とインテリア):目標2に対応(15%)  演習課題2(大学キャンパスのインテリア):目標2に対応(15%)  総括試験:目標3に対応(55%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題は後日添削して返却します。  試験後、解答の解説を行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法:レポート  総括試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法:演習課題1  演習課題2</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:演習課題1  演習課題2</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:演習課題1  演習課題2</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  『超図解で全部わかる インテリアデザイン入門【増補改訂版】』 著者名:Aiprah(アイプラフ) 出版社:エクスナレッジ (978-4-7678-2591-5)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			